

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	からふる尾島		公表日		2026年2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	利用者一人ひとりの特性や状態を踏まえ、事前の予防的な支援を心掛けることで、パニック等の発生や負担の軽減につながるよう支援を行っています。	適切に配置していても、少ないと感じているスタッフが多いのが現状です。良いアイデアなどを出し合いながら工夫していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3		一部スペースの使い方に改善余地（活用余地）があり、もっと活用することで、環境整備ができると考えられます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		支援面では外部コンサルを受け第三者の視点を活用していますが、業務改善への反映は十分でなく、今後の課題としています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	強度行動障害支援者養成研修の受講を進め、その他研修の費用も会社が支援するなど、職員の資質向上に力を入れています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	2	子どもが日々の活動を楽しめるよう、季節行事や興味に合わせた多様なプログラムづくりに努めています。	活動内容が固定化しないよう、今後も新しい企画を取り入れ、より充実した時間を提供できるよう工夫を重ねていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		

事業所名	からふる尾島		公表日	2026年2月25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	支援終了後の振り返りは、翌日の引き継ぎミーティングで必ず行い、気づきや支援内容を職員間で丁寧に共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	2	自己主張を引き出すため、絵カードなどの視覚支援を積極的に取り入れ、子どもが選びやすい環境づくりに努めています。	自己決定を促す支援はまだ課題であり、子どもが自分で選びやすい仕組みを今後さらに整えていく必要があります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等と、必要に応じて情報共有を行い、円滑な支援につながるよう相互理解に努めています。	現状では、他の放課後等デイサービスからの移動による利用が多く、十分な情報共有が難しい場合がありますが、可能な範囲で状況把握に努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	自立支援協議会の活動に参加し始め、地域とのつながりを広げながら、今後の連携強化に向けた基盤づくりを進めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		児童発達支援センターや地域の子どもとの交流はまだ十分でなく、今後は連携の機会を増やし、地域との関わりを深めていく必要があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	現在、事業所主催の家族支援プログラムや研修は開催できていませんが、地域で実施されている研修等の情報提供を行い、家族支援につながる機会の共有に努めています。	家族支援プログラム等を事業所で開催できていない点は課題と考えています。現時点では地域研修の情報提供に留まっていますが、今後の実施方法について検討を進めていきます。	

事業所名	からふる尾島		公表日		2026年2月25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	個別面談やアンケートで保護者ニーズを把握し、負担の少ない交流の形を検討しています。相談支援事業所の開所も活かし、家族全体を支える体制づくりを進めていきます。	父母会などの保護者交流の場は毎年の課題ですが、参加へのニーズが分かれているため実施方法の検討に時間を要しています。今後も声を丁寧に伺いながら検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	会報やお知らせを通じて活動内容の発信を行っている。今後は、より多くの方に情報を届けるため、ホームページの導入を予定している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	事業所行事への地域住民の招待は行えていませんが、自立支援協議会への参加を通じて関係機関と連携し、地域とのつながりを大切にした運営に取り組んでいます。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	事前に服薬やてんかん発作等の状況を確認しています。服薬は十分注意して取り扱い、てんかんについては対応フローチャートを作成し、適切な対応に備えています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	4	現在、食物アレルギーに該当する児童の利用はありませんが、今後に備え医師の指示書に基づき適切に対応できる体制を整えています	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	安全計画を作成し、職員間で内容を共有しています。日常支援の中でも安全意識を高く持ち、子どもの安全確保に努めています。	安全計画に基づく取組内容について、家族への周知が十分とは言えない点が課題です。今後は研修実施後の情報発信を含め改善していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット事例は事業所内で共有し、速やかに対応しています。あわせて振り返り会議を実施し、再発防止に向けた具体的な方策を継続的に検討しています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			